

足助高校通信

Japanese Hinadoll Tour in Asuke 2019

3月2日



記念撮影



吹奏楽部演奏

今年も南山大学の留学生13名を招いて、「Japanese Hinadolls Tour in Asuke in2019」を開催しました。午前には吹奏楽部の演奏や街中のおひなさんを見て回り、午後は三州足助屋敷で体験学習を行いました。天候にも恵まれ、本校生徒も、留学生の皆さんも楽しんだ様子でした。

今年度も本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。この歴史ある「小さくても大きな」足助高校は、少人数の良さを活かし、地域に根差したさらに素晴らしい学校となるべく成長してきます。

さて、今後の予定は以下のとおりです。

- 3月22日（金） 合格者登校日
- 4月 5日（金） 入学式準備、離任式
- 4月 8日（月） 入学式、入寮式
- 4月 9日（火） 新任式、始業式、対面式
- 4月10日（水） 通常授業（課題テストを含む）開始

春休みには、各教科から課題が出されています。しっかり取り組んで、スムーズに新学年のスタートをきれいにしましょう。



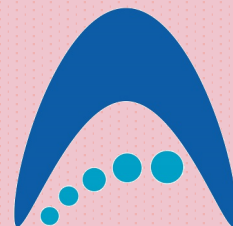
ひな人形を見学



足助の町並み散策



紙すき体験



愛知県立足助高等学校

豊田市岩神町川原5

電話

0565-62-1661

ホームページ

<http://asuke-haichi-c.ed.jp>

第68回卒業証書授与式

3月1日



卒業生入場



呼名



学校長式辞



卒業証書授与



学校賞授与



在校生代表答辞



卒業生代表答辞

答辞（一部抜粋）
 高校三年間は長いようであつという間に終わってしまいます。自分の目標を持ちながら、勉強や部活等に取り組んでいくてください。そして、周りにいる仲間を大切にしてください。足助高校は小規模・少人数の学校ですが、だからこそ、仲間との結びつきは強いはず。

さくら さくら ただ舞い落ちる
 いつか生まれ変わる瞬間を信じ
 泣くな友よ 今惜別の時 飾らない笑顔で さあ
 さくら さくら いざ舞い上がれ
 永遠にさんざめく光を浴びて
 さらば友よ またこの場所で会おう さくら舞い落ちる道の上で

森山直太郎・御徒町風作詞「さくら（独唱）」より



「さくら（独唱）」をBGMに退場

学校長より

平成30年度もいよいよ締め括りを迎えました。皆さんはこの1年間を振り返り、自分がどれくらい成長したかわかりますか。今年度を終了し、次年度を迎える今、是非、自分自身を振り返ってください。

1年間を振り返ると、本校にとって大きな良い出来事がいくつもありました。中でも特に、3学期の大きな出来事としては、昨年3月からの本校と東京大学住民共創グループとの「バス会議」の取組の成果が形になりました。平成31年2月26日に足助病院バス停が変わりました。これは、足助高生のマナー向上のための改善策としてバス会議が検討を進め、豊田市に提案し実現したものです。

バス会議では、地域のバス交通に関する問題点について、実際に町に出て記録したり、町の人々に対しアンケート調査を実施するなどして、課題を発見しその解決策を研究してきました。その成果発表を豊田市の交通政策課の方々を招いて行い、バス交通に対する様々な改善策を提言しました。その取組が認めれ、提言の内のひとつ、足助病院のバス停改善にむけての足助高生の提案が採用されて、バス停の表示が設置されたのです。この取組は、素晴らしいことです。今後、私たちは、設置された表示に従って、一般の乗客の方々と待つ場所を分け、マナーを守って乗車で、さらに本校の成果が輝き、評価が上がります。今後、この素晴らしい本校の生徒諸君と先生方の取組と、マナーの向上を学校上げて頑張っていることを、様々な所で宣伝しようと思っています。是非理解し、協力をお願いします。

さて、「自分の考えや行動が社会を変えていくなんであり得ないし、大袈裟じゃないか」と思う人もいるでしょう。しかし、そんなことはありません。まさに、このバス会議の取組は、「個人の意見から始まった高校生の提言で、市政が動いてくれた」という良い例です。しっかりとした方法を踏まえてやっていけば、私たちは社会を変えられるということなのです。

この取組を通して、皆さんにお伝えしたいことがあります。確かに、一個人の小さな力では、「たいしたことはできない」のかも知れません。しかし、「たいしたことはできない」と「何もできない」は違います。「社会中の人々」とか「困っている全ての人」に対してはできなくても、自分の目の前にいる人、自分の身近にいる人にだったら、何かできるかも知れない。自分にできるその「何か」が、すぐに世界平和に結びつかなくても、人を優しい気持ちにさせるとか、思いやりの輪が広がるとか、ほんの少しずつでも、社会をより良い方向に向かわせることができると、私は信じています。それが今年度ずっと反してきた「天国言葉運動」です。

よって、自分一人の考えなんて所詮ちっぽけなもので、世界を変えることなんてできやしないと、あきらめてはいけません。自分が何もせず、やる気のある誰かがやってくれるだろうと、人任せにしてもいけません。自分の、自分たちの、自分たちに続く者たちの未来をあきらめないこと、人任せにしないこと。そして、そのために自分には何ができるのか、何をすべきなのか、常に自分自身で考えて、意識して行動してください。

愛知県知事表敬訪問

12月27日



大村知事と写真撮影

大村知事からのお言葉

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の受賞を受けて、大村秀章愛知県知事へ表敬訪問を行いました。これからの山間地域の未来を担う姿勢を高く評価していただきました。

第6回リレー講座

2月7日



怒田沢楽しい会講話

東京大学鎌田教授講話

生徒会より謝辞

最後の「足助高校×東京大学／たすけあいプロジェクト住民共創グループ」のリレー講座が開催されました。今回は第2回でもお越しいただいた中山間地域で働く方々からお話を伺いました。足助、豊田、世界と前回までの講話で広がった視野で、もう一度中山間地域を見直すという観点でした。

1年C組こども園訪問

2月13日



1年C組が音楽の授業の一環として足助もみじこども園で交流会を行いました。本校生徒が童謡「雪」をオカリナで演奏するのに合わせて、園児が歌ったり、「幸せなら手をたたこう」を合唱したりしました。また「エプロンシアター」「絵本の読み聞かせ」なども行いました。

「バス会議」乗車位置ライン引き

2月26日



意見交換会

案内板設置

完成した案内板

「足助高校×東京大学／たすけあいプロジェクト住民共創グループ」のバス会議でバスの利便性の向上などを目指して行われてきた話し合いを経て、この日、足助病院に一般の方と高校生の乗車位置を示す案内板を設置しました。本校生徒が先頭に立ってバスの乗車マナーの向上に努めます。

3学期アラカルト



成人式ボランティア

足まつり

WeLoveとよたフェスタ